

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 17 年 3 月 17 日 (2005.3.17)

【公開番号】特開 2003-136719 (P2003-136719A)
 【公開日】平成 15 年 5 月 14 日 (2003.5.14)
 【出願番号】特願 2001-341540 (P2001-341540)
 【国際特許分類第 7 版】
 B 4 1 J 2/045
 B 4 1 J 2/055
 【F I】
 B 4 1 J 3/04 1 0 3 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 16 年 4 月 22 日 (2004.4.22)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 6 2
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 6 2】

図 4 に示すように、本実施形態では、デコーダ 4 5 は、記録データが非記録 [0 0] の場合にパルス選択データ [0 0 0 0] を生成する。そして、供給制御手段 (各シフトレジスタ 4 1, 4 2, 各ラッチ回路 4 3, 4 4, デコーダ 4 5, 制御ロジック 4 6, レベルシフタ 4 7, 主スイッチ 4 8。以下同様。) は、生成されたパルス選択データ [0 0 0 0] に基づいて、圧電振動子 2 1 に供給する駆動パルス D P 1 ~ D P 3 を決める。即ち、駆動パルス D P 1 ~ D P 3 の何れも圧電振動子 2 1 には供給しない。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 6 3
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 6 3】

そして、記録データが小ドット [0 1] の場合、デコーダ 4 5 はパルス選択データ [0 0 1 0] を生成し、供給制御手段はこのパルス選択データ [0 0 1 0] に基づいて圧電振動子 2 1 に第 2 駆動パルス D P 2 を供給する。また、記録データが中ドット [1 0] の場合、デコーダ 4 5 はパルス選択データ [0 1 0 1] を生成し、供給制御手段はこのパルス選択データ [0 1 0 1] に基づいて圧電振動子 2 1 に第 1 駆動パルス D P 1 及び第 3 駆動パルス D P 3 を供給する。さらに、記録データが大ドット [1 1] の場合、デコーダ 4 5 はパルス選択データ [0 1 1 1] を生成し、供給制御手段はこのパルス選択データ [0 1 1 1] に基づいて圧電振動子 2 1 に第 1 駆動パルス D P 1 と第 2 駆動パルス D P 2 と第 3 駆動パルス D P 3 とを供給する。